

沖縄島北部行動計画に係る完了事業一覧（平成29年度までに完了した事業）

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
1) 保護制度の適切な運用						
1 やんばる国立公園の管理	環境省	北部訓練場返還地の国立公園への編入	北部訓練場返還地	北部訓練場返還地をやんばる国立公園に編入することを目指し、自然環境調査を実施。地元関係者との調整を図る。	平成29年度	
2) 外来種による影響の排除・低減						
5 所有者のいないネコ・イヌの保護収容・譲渡施設の整備・運営	国頭村(世界自然遺産推進室)	国頭村森林地域内に生息するノイヌ捕獲業務	国頭村全域	遺棄されたイヌによる野生動物の捕食により生態系等の悪影響を防止するための捕獲	平成29年度	
3) 希少種への人為的影響の防止						
1 希少野生動物の交通事故等の対策強化	国頭村 大宜味村 東村	CSR活動による地元団体と連携したロードキル防止対策事業	3村全域	ロードキル防止の除草活動、看板設置を企業CSR活動と連携することにより、対外的にも希少種保全の普及啓発を図る ＜やんばる3村世界自然遺産推進協議会＞	平成29年度	
4) 緩衝地帯等における産業との調和						
2 野生鳥獣の保護及び地域社会との共存	環境省	平成20年度ノグチゲラによる柑橘類食害実態把握調査	沖縄島北部3村全域	野生鳥獣と地域社会の共存を図るため、野生鳥獣の適切な保護管理による生物多様性の確保を行うとともに、農林業への悪影響や生活環境の被害の防止に必要な取組みを行う。	平成20年度	
5) 適切な観光管理の実現						
1 沖縄島北部全体の持続的観光マスタープラン策定による持続可能な観光の推進	国頭村(企画商工観光課)	国頭村観光振興基本計画策定事業	国頭村全域	世界自然遺産推薦地としての自然環境の保全と利活用を図るため、基本計画に、持続可能な環境共生型観光の施策を盛り込む ＜国頭村観光振興基本計画検討委員会＞	平成28年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
(修正前) 世界遺産に関する 観光ビジョンの策 定による持続可能 な観光の推進	大宜味村	大宜味村第 5 次総合計 画の策定	大宜味村全 域	世界自然遺産登録を目指すこ とを踏まえ、観光における実動 的人材育成をはじめ、観光受入 体制拡充や既存施設を活用し た取組などの観光振興推進を 含む、総合計画を策定する。	平成 28 年度	
	東村 (企画観光 課)	東村第 2 次観光振興計 画の策定	東村	世界自然遺産登録を想定して、 新たな方向性の設定、施策の基 本方向などを「東村第 2 次観光 振興計画」のなかで位置づけ た。 ＜東村観光振興計画策定委員会＞	平成 28 年度	
2 体験・滞在・交流に よる観光スタイル の確立	沖縄県 (村づくり 計画課)	農林水産業活性化拠点 整備事業	本島モデル 体制 ・国頭村 ・東村 ・大宜味村	○農山漁村地域における都市 農村交流の需要に対応するた め、継続的かつ計画的な受入れ が可能な広域の交流拠点体制 の構築、育成、取組の支援を行 う。	不明	
	沖縄県 (観光振興 課)	環境共生型観光推進事 業	沖縄島北部	エコツーリズムに関する意見 交換	平成 29 年度	
3 森林ツーリズムの 推進体制の構築	沖縄県 (森林管理 課)	やんばる型森林ツーリ ズム推進体制構築事業	国頭村、大宜 味村、東村	森林の適切な利用を図るた め、利用ルールやモニタリング 制度及び質の高いツアーを提 供するためのガイド制度等の 仕組みを創設すると同時に、持 続的な資金の確保を図り、地域 が自立してこれらを管理・運営 する組織体制の構築 (協議会の 設置等) に向けた事業である。 これにより、遺産価値の保全と 森林の利活用の両立による山 村地域の振興を実現する。	平成 29 年度	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
	国頭村(世界自然遺産推進室)、大宜味村(企画観光課)、東村(企画観光課)	森林ツーリズム推進全体構想策定事業	国頭村、大宜味村、東村	森林の保全と適切な利用を図るため、利用フィールド、利用ルール、ガイド制度を構築し、持続可能な森林ツーリズムを行う。	平成 29 年度	
4 フィールドの適切な利用コントロールの実施及び利用ルールの設定・遵守	環境省	・平成 19 年度やんばる地域の自然環境に関する普及啓発資料作成業務 ・ノグチゲラ保護増殖事業(ノグチゲラ観察ルール)	沖縄島北部 3 村全域	遺産価値(生物多様性と生態系)を保全するため、以下の取組み等を実施することで自然利用に伴う負荷の低減を図る。 ○利用分散のための周辺地域への利用誘導 ○希少種の観察ルール等の検討・普及啓発	不明	
5 利用の質の向上に向けた取組の強化	東村(企画観光課)	グリーンツーリズムインストラクター要請スクール	東村全域	インストラクターに必要な基礎知識などを学ぶ養成講座を行った。	不明	
		東村自然体験指導者等養成事業	東村全域	自然体験活動指導者の養成	不明	
	沖縄県(観光振興課)	環境共生型観光推進事業	沖縄島北部	エコツーリズムに関する意見交換	平成 29 年度	
	国頭村(世界自然遺産推進室)	国頭村森林ツーリズム推進全体構想策定事業	特定フィールド	森林の保全と適切な利用を図るため、利用フィールド、利用ルール、ガイド制度を構築し、持続可能な森林ツーリズムを行う。	平成 29 年度	
	東村(企画観光課)	観光産業人材育成事業(2014~2018 年度)	東村全域	安心・安全な観光案内ができるよう自然ガイドの育成を行う。	平成 29 年度	平成 30 年度は別事業で東村観光推進協議会が講習会開催
6 施設整備による負荷の低減と適正利用の推進	沖縄県(自然保護課)	自然環境整備事業	国頭村 大宜味村	自然公園内において、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図るため、遊歩道、休憩所、公衆トイレなどの整備を行う。	不明	

行動計画の事業項目	実施主体	事業名	対象地	事業概要 ＜関係する会議体＞	事業完了年度	備考欄 (現行事業との関係等)
	東村（企画観光課）	慶佐次湾ヒルギ林周辺の公園整備事業	慶佐次地域	国指定の天然記念物である慶佐次湾のヒルギ林の保護と活用を目的に遊歩道や駐車場などを整備。	不明	
		平成 20 年度 持続可能な観光地づくり支援事業	慶佐次地域	東村ふれあいヒルギ公園内の公衆トイレが容量超過のため、悪臭が発生し周辺環境へ悪影響をあたえる問題があったので保全と利用のバランスをとりながら活用していくために観光案内所を整備した	平成 20 年度	
		東村観光施設機能強化事業	東村	慶佐次川でのカヌー体験の人気がある一方で慶佐次川での利用集中による環境負荷や混雑感から利用者の満足度低下が懸念されていたので負荷の軽減を図るため、新たなフィールドの創出を行った。	平成 28 年度	
6) 地域社会の参加・協働による保全管理						
2 照葉樹の森再生事業の実施	国頭村（経済課）	機能回復整備事業	国頭村全域	森林機能の回復・増進等の観点から、林木の生長が不良な土地や耕作放棄地等を対象として造林事業を行う。	平成 29 年度	
4 沖縄島北部の河川における調査及び自然再生事業の推進	沖縄県（河川課）	奥川自然再生事業	奥川	奥川は過去の河川整備により、氾濫は軽減されたものの豊かな自然環境と健全な生態系が消失している状況にあるため、再生・保全を図る。 ＜奥川自然再生協議会＞	平成 29 年度	
	国頭村（企画商工観光課）	奥川自然再生事業	奥地域	河川生態系の再生、外来水生生物等の適正管理の取組みの自然再生を通じて地域づくりを図る＜奥川自然再生協議会＞	平成 29 年度	